合理化の不当性を確認

遺族、被災者にも全力

炭労調査団のまとめ

炭労の三池調査団は去る一六日より一九日まで四日間、職場・地域の交流と遺族・被災者家族との懇談、そして熊本大学入院者見舞など、早朝より夜おそくまで山本委員長を先頭に熱心な調査が行なわれた。

調査団の報告書は整理されて二五日の中斗委員会に提出されるが現地における調査団の基本的な大綱の意志統一として次のように総括された。

異状な不当性を確認

いままで三池よりの報告で不当差別、組織切り崩し、保安無視、不当処分などをきいていたが、現地に来て直接組合員と合って実態を知り、余りにもひどい不当弾圧であることを全員確認する。三池の経営者は全く異状であり、三池は無法地帯の感を深くした。

今後どの様に取組むか

三池労組はこれに対して反合理化斗争すなわち「長期抵抗路線」で勇気と展望を持ってたたかっていることも、具体的交流の中から明らかとなった。

今後炭労としては、この三池斗争を、政府の石炭政策と合理化に反対する斗争と、どのように結合させ発展させるかは、中斗委員会で十分検討したい。なお当面、三池の実態を炭労全体に理解を深めてもらうためには、組合員の交流を早急に行なう必要あると考えられるので、強く中斗に要請する。

百聞は一見にしかず

調査団は、CO中毒患者家族との懇談と熊本大学入院者見舞を通じて、そのご実態を把握した。百聞は一見にしかずということわざ通り、実際に患者を見、家族の意見を聞いて、いままでの認識不足であったことが痛感された。調査団としては

1、CO立法の早期成定のため全力をあげる。

2、当面全炭労傘下組合員に対し年末カンパを呼びかける。

3、来年一月以降一定金額を継続的なカンパ活動を行ない、CO立法斗争を盛り上げる。そのため炭婦協にも協力を求める。

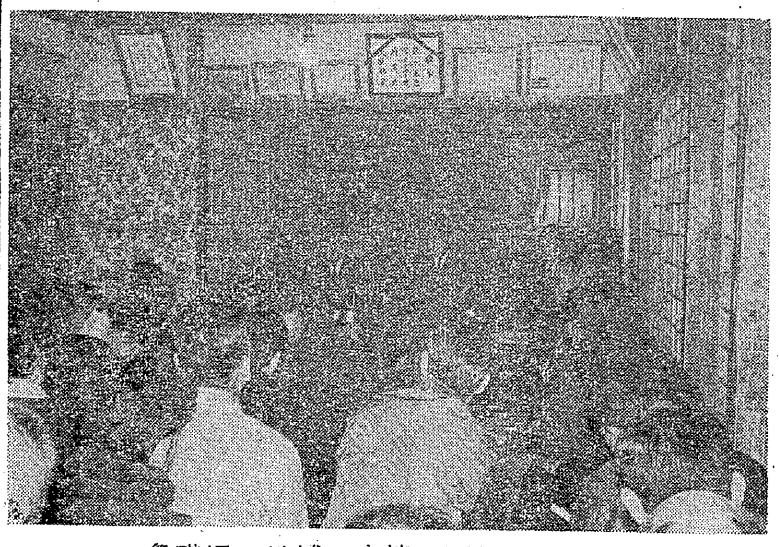
生産の犠牲になった遺族の結集

生産第一主義の石炭政策の犠牲となった遺族の実態は、余りにもひどい生活苦となやみを持っていることが確認された。こんごは

1、三池の遺族要求一四項目を全面的に取り上げて斗う。

2、当面遺族から出された諸要求中緊急を要する問題は、対政府交渉を早急に行なう。

3、炭労傘下の全遺族に呼びかけ組合単位、行政区単位に遺族会を結成し、市町村段階、県段階に諸要求をつきつけ、中央に全国遺族会を結成し、来春斗には大行動をおこしたい。

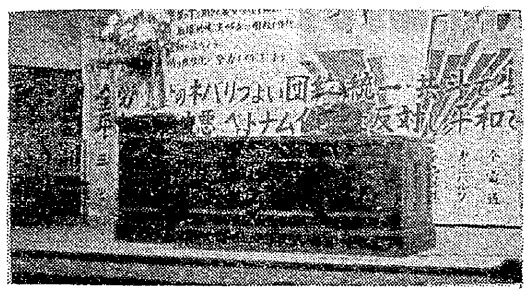


各職場、地域の実情と要望をきき、共に斗うことを誓う炭労調査団

組織をあげて支援

レーニン賞金も三池に

太田議長談話



総評の太田議長は炭労調査団の顧問として来組し、大綱つぎのような談話を発表した。

今回、炭労三池調査団の顧問団として参加し、いまさらながら独占資本の悪らつさを痛感しました。

どこの資本家も利益をあげるためには手段を選ばないということは資本主義のもつ必然性かもしれないが、三井鉱山のやり方は特に悪質であり、人道上からも絶対に許せないことをやっている。まったくけしからんと思う。総評としても、あの「三池斗争」の中から大きく前進した組織であり、必ず三池をつつみ三井鉱山の「不当性」を改めさせるまでたたかうことを誓います。

またCO中毒患者とその家族の方に接し、合理化の恐しさということを感じました。

私はCO患者と家族を守る道はCO特別立法をつくる以外にないことをさらに認識しましたので、佐藤総理との定期会談においても強く要求し、来春斗には私も先頭にたって座りこみでもして必ず成立するようたたかうつもりです。

最後に、私は労働者としてもっとも名誉あるレーニン賞をうけました。もちろんこれは総評の全労働者が平和のため、あらゆるたたかいの先頭にたってたたかったその代表として私がうけたわけですが、そのなかでも特に三池の労働者のたたかいが私をして受賞あらしめたものと思います。

まことに僅少ではありますがここに受賞金の中から金一封を三池労組におくります。私は三池のことは永久に忘れません。

× × × ×

反撃へ突破口

第一次加入者かちとる

抵抗の前進あらわす

三池労組は一二月一七日の緊急中央委員会で宮浦支部における第二組合からの新規加入者を歓迎した。

これは三池斗争いらいきびしい合理化攻撃に抵抗しながらたたかいつづけてきたわれわれの団結がたたかわない第二組合員のなかに影響をあたえた最初の証明であり抵抗斗争の前進をあらわしたものである。

炭労も奮起

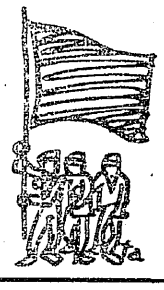
炭労調査団として来組中の山本炭労委員長は同中央委員会でつぎのような歓迎のことばをのべた。

「会社の攻撃がもっともはげしいときに、先頭をきって加入された勇気に心から敬意を表します。われわれもこれに勇気を得て、三池の実践を全炭労のものとする努力をさらに強化したい」。

たたかいを強化

新しい年をむかえて三井鉱山は合理化攻撃を強化し、日韓条約強行批准にみるように政治的反動もさらに強まっているが、われわれは反撃の条件が全三池の労働者の間にひろがっていることを確信したたかいをいっそう強化しよう。

以上が調査団としての意志統一がなされ一九日現地を解散—帰京された。三池現地としても、短時間ではあったが精力的に活動された調査団に対し、心からお礼を申し上げたい。



"いまからが本番"

加入した中島さんに聞く

ケガでもするとオコラレル

——職場ではどうですか

【答】一一月に職場で二人のひとがケガをしたが、一人は一三日も入院させたのに一人は坑外で仕事をさせるというひどいことをします。係員の目の前でケガをしたというのに。ケガをしても新労組員だけしかいないときは係員は「今旧労がおらんからよかくさ」といって仕事をさせる。係員は仕事をせきたてるのがオチでケガでもすると知られる。

新労幹部の実態はみんな知っている

——新労組についてどう思いますか。

【答】新労組の幹部が金でイカレているのではないかということは新労組員でもみんな知っている。三池労組から新労にいった人も三池労組にいた方がよかったという人もいます。今のまま新労組にいては労働者はどうなるかわからないということを、私たちは他の新労組員よりも先に判ったというだけで今後もどんどんふえてくると思います。とくに一〇月以降は仕事がきつくなり、会社が社宅をまわって出勤を強要するようになりました。こんなことになると三池労組がいなければどんなことになるかわからないし、新労組員のうち三分の二位は三池労組に帰りたいと思っているのではないか。

私たちが先頭になって

——三池労組に加入するときはどんな気持でしたか。

【答】新労組は「新労組のおかげで直轄になったのだ」と思わせ、三池労組に行けばクビになると思わせるような教育ばかり受けたのでそれが一番ヒッカカりました。しかし、私たちがここで勇気をだせばドンドンあとにつづく人々がでてくるだろうと思います。三池のたたかいなどぜんぜん知らなかったし、仕事はくるしいし、いろいろまよいましたがこれでスッキリしました。

いざとなったら女の方がつよい

——奥さんの意見は？

【答】三池労組に行けば会社から差別されて給料はへるだろうし、家族もいろいろと圧迫をうけるのではないかと思い家内と相談しました。いっそ社宅をでようかといったら「他人がなんといったってよかやんネ」と落着いたものですいざとなったら女の方がつよいですね。

新加入者に激励の握手をする太田議長